

～開催報告～

平成29年度 へき地医療体験実習・研修会

三重県へき地医療体験実習

日時:平成29年8月23日～26日

今年も三重県内の7地域9医療機関(神島診療所、桃取診療所、紀南病院、志摩病院・志摩地域医療福祉センター・長岡診療所、尾鷲総合病院、南伊勢病院、報徳診療所)にご協力いただき、へき地医療に興味を持つ医学生を対象にへき地医療体験実習を開催しました。体験実習には三重大学、自治医科大学、高知大学の医学生15名が参加しました。



研修会の感想(一部抜粋)

- ・実習報告会では、学生ひとりひとりがへき地での医療についてしっかりと考え、これからの医療に何が必要かといった意見を聞くことができた。
- ・講演会での大場医師の熱い志、医療に向き合う責任感を感じ、自分達も気持ち新たに明日からがんばっていきたくと思った。
- ・マシュマロチャレンジでは、ミッションをみんなですることによってPDCAサイクルを意識する大切さを学べて良かった。

実習の感想(一部抜粋)

- ・へき地では医療スタッフの不足が問題視されているが、地域に医療スタッフがいなくても安心できるよう、遠隔医療や中核病院の更なる充実化も必要だと感じた。
- ・医療スタッフの方々や関わった住民の方々から、三重県の良さを感じる事ができた。どちらも「相手のために」を意識していることが伝わってきた。

三重県へき地医療研修会

「地域で育てる、医療のみ・りよ・く」

日時:平成29年8月26日～27日

へき地医療体験実習に引き続き、大台町宮川林業総合センターにてへき地医療研修会を開催しました。

へき地医療研修会は、平成15年より始まり、毎年へき地医療にかかわる医療関係者、行政関係者、医学生、住民の方の情報発信・交流の場となっております。今年は94名とたくさんの方にご参加いただき、医学生による体験実習報告会、特別講演、グループワークを行いました。

特別講演には、大阪府済生会千里病院 千里救命救急センターの大場次郎先生をお招きし、「救命救急と国際支援～四十にして感う～」という題で、志高い、熱意あるご講演をお聞きすることができました。

2日目のグループワークでは、グループごとにマシュマロチャレンジを行い、医療現場で不可欠なチームワーク、PDCAサイクルについて学び、笑顔あふれる研修会となりました。

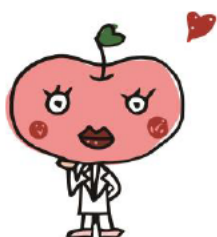
来年度も8月下旬に体験実習・研修会を予定しております。へき地の魅力を感じる実習、研修会を企画いたしますので、皆様のご参加お待ちしております。



※へき地医療体験実習・研修会の詳細はへき地医療支援機構 Web サイトでも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。<http://www.pref.mie.lg.jp/IRYOS/HP/hekiti/>

三重県へき地医療支援機構 専任担当官より

こんにちは。昨年度に引き続き、専任担当官を務めさせていただいている野田 真理子です。昨年同様、町立南伊勢病院での診療と、へき地医療支援機構でお仕事をさせていただいています。専任担当官は2年目ということで、昨年度の反省を踏まえてよりよい企画を提案していきたいと思っております。プライベートでは3月に第二子を出産し、たるんだお腹を戻すべく、まずは筋トレとウォーキングを始めてみました。至らない点等多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



発行日 平成29年9月21日
発行元 三重県へき地医療支援機構
(健康福祉部医療対策局地域医療推進課)
電話 059-224-2326

【三重県へき地医療支援機構】

国のへき地保健医療対策に基づき、平成15年度より三重県健康福祉部に設置されました。へき地での診療経験を有する医師が専任担当官として配置されています。